
三題噺

桜花

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

三題噺

【Nコード】

N5605N

【作者名】

桜花

【あらすじ】

3つのお題を元に短編小説を書いていこうというものです。

(前書き)

何度も書き直してしまいましたっ…。
良かったら読んでみて下さい！

＊子供

＊約束

＊電車

『――…約束だよ』

ガタンゴトンッ…

ぼくは中学生になって初めての夏休みを迎え、田舎のおじいちゃん
の家に遊びに行くことになった。

子供の頃、ぼくの家はおじいちゃんの家近くだったけど、お父さ

んの転勤で引越すことになったのだ。

だから、毎年夏休みになると家族で行くんだけど、今年は両親の仕事の関係上ぼく一人だけになった。

電車の揺れがとても気持ちいいリズムで走行している。

心地いいリズムが眠気を誘い、ぼんやりとした頭の中でとても懐かしい声が聞こえてきた――。

＊。＊。＊。＊。＊。＊

『…ねえねえ、おなまえ…なんてゆうの？』

公園で一人、砂遊びをしていたぼくに、突然女の子が話しかけてきた。

あまりに突然なことではぼくは戸惑いながら、女の子の質問にこたえた。

『…えと…ぼく、は…はじめ…。…きみは？』

『はじめ君ね！わたしはね、ちひろってゆうの！よろしくね』

『…う、うん』

初めて出会った時はすごくびっくりしたけど、ぼくとちょうど同い年で家も近所らしく、ぼくらはとても仲良くなった。

砂場で二人で山を作ったり、ブランコに乗ってどっちの方が高くまで上がれるかを競ってみたり…。

毎日いろんなことをして遊んだ。一人で遊ぶより二人の方がずっと楽しかった。

しかし――

ある日、ぼくは引っ越しをすることになってしまった…。

『ええー！！はじめ君お引っ越ししちゃうのお？』

『うん…。今までありがとう、ちひろ…。楽しかったよ』

『うん、わたしも！…。そっか…。ねえ？はじめ君』

『なに？』

『…わたし、いつでもここにいるよ。小学生になって、中学生になってもずっといる』

『だからね、いつでも遊びに来て…約束だよ！』

『…やくそく？』

『そう！またいつか会おうね』

『…ぼく守るよ、約束。またいつか会おう、ちひろ』

『——…約束だよ』

。。*。*。*。*

気がつくに乗っていた電車は、もう終点駅まで来ていた。

ぼくは、さっそくおじいちゃんの家へと向かった。

いつもならおじいちゃんが駅まで車で向かいに来てくれるけど、今日は歩いて向かうことにした。

この辺りは小さい頃、ぼくが住んでいた時とあまり景色が変わって

いない。

毎年遊びに来てはいるけれど、どこか懐かしさを感じる。

「…そういえば、昔遊んでた公園ってこの辺だったっけ」

そう、ひとり言を呟きながら公園へ行ってみた。

「久しぶりだな…。何年ぶりだろう？」

公園内を歩き回ると、先ほどの夢を思い出してきた。

――…やくそく

さすがにしているわけがないだろう。ただの口約束だし、小さい頃のことだ。

(……ちひろ…)

そっと心の中でつぶやき、振り向くと制服を着た女の子が立っていて、ぼくと目が合った。

「…あっ!？」

気まづくなって目を反らそうとした時、女の子の方から声をかけてきた。

「…あの、もしかして…えと…はじめ、君？」

「……ちひろ——!？」

間違いない…ちひろだ。小さい頃の面影がまだ少し残ってる。

まさか、本当にあえるなんて…。

そう長くもない沈黙が続き、ちひろから口を開いた。

「…やっと、会えた…」

。。*。*。*。*

ぼくらは昔のように遊んだりはしなかったけど、ぼくらは昔のように遊んだりはしなかったけど、今はどんなことをしているかなど、たくさんの話をした……。

ぼくはあの時の約束をちひろも覚えてたことが、ただただ嬉しかった…。

（ねえ、はじめ君？）

（なに？）

（毎年こっちに来てたなら、なんで公園に来なかったの？）

（そっ…それは…）

（…忘れてた、とか？）

(…………。)

(まあ、いいや！会えて良かったよ)

(…………うん)

(後書き)

こんな感じでいかがでしたか？感想や一言コメントを頂けると嬉しいです！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5605n/>

三題噺

2010年10月9日15時55分発行